

部品交換要領書

玄関ドア アミティ・デュガードⅡ用
レバーハンドル・台座・サムターン

HHW12-061
2014年10月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ（とがった角）でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

レバーハンドル・台座・サムターン HH-J-0017 HH-J-0096  レバーハンドル・台座・サムターン：1式	取付ねじ  化粧座取り付け用：3本	交換要領書  1枚
---	--	---

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー   1本
--

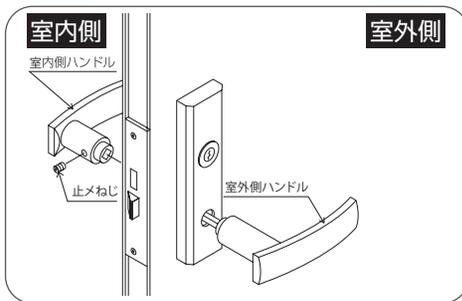
※部品が全てそろっていることを確認してください。
一部品番に取付ねじが2本同梱されている場合があります。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ（とがった角）でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 レバーハンドルの取りはずし



プラスドライバーで室内側ハンドルの止メねじをはずし、室内側ハンドルおよび室外側ハンドルをはずす。
※室内側ハンドルをはずすと室外側ハンドルがはずれます。落下にご注意ください。

2 化粧座の取りはずし



室内側からプラスドライバーで取付ねじをはずし、室内側化粧座および室外側化粧座をはずす。
※室内側化粧座をはずすと室外側化粧座がはずれます。落下にご注意ください。

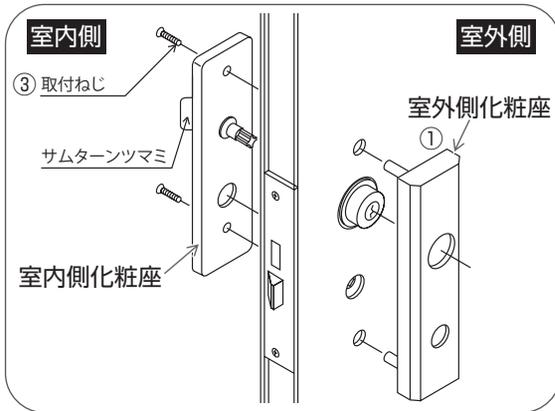
※部品の取り付け方は2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

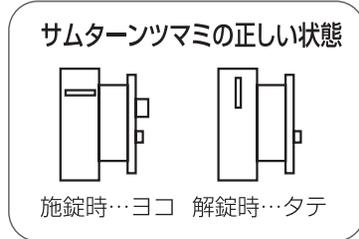
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ（とがった角）でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 化粧座の仮止め

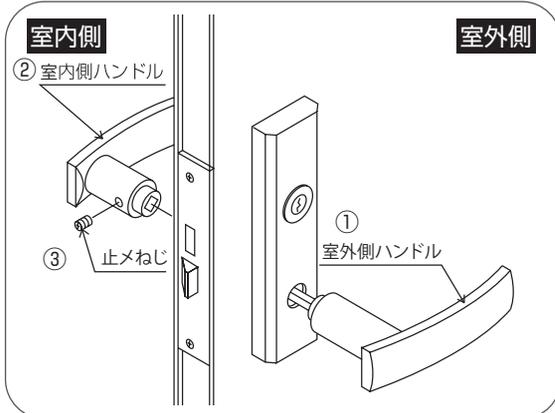


- ① 室外側化粧座を室外側から差し込む。
- ② 室内側化粧座を施錠状態とサムターンツマミの向きを合わせて差し込む。



- ③ プラスドライバーで取付ねじを仮止めする。

2 レバーハンドルと化粧座の取り付け



- ① 室外側より、室外側ハンドルをケースの角穴に合わせて差し込む。
- ② 室内側ハンドルを室外側ハンドルの角軸に差し込む。
- ③ プラスドライバーで止メねじを仮止めする。
- ④ ハンドルを数回作動させ、動きのよいところで化粧座の取付ねじ及びハンドル止メねじをプラスドライバーでしめる。

部品の交換後のチェック

お願い

交換した部品がしっかりと取り付けられていることを確認してください。



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ ハンドルを動かしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ④ 取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1ページをご覧ください。